

指標案委員意見一覧《福祉・健康分野》

分野(中項目)	指標名	設定理由	委員名
高齢者福祉	シルバー人材センターの新規業種開拓数	高齢者の生きがい作りのために、求められているニーズだけでなく、趣味の範囲でも良い郷土料理・手芸・囲碁などを教えてくれる教室など、新たなニーズを開拓することで、地域のつながりも強くなり、やりがいも持っていただけと考えたため。	上野委員
	介護予防事業数と予防事業参加人数。又要介護の方の数と介護予防事業に参加されているか働いているかにより要介護となっていない方の数	介護予防事業の効果を検証し、介護予防講習が仕事や趣味の生きがいに匹敵するかどうかを検証することで、どちらが予防になるのか、内容をどのように変化させれば、予防になるのかと考えたため。（金銭の取得が、一番予防になるのかと考えました。）	上野委員
	介護保険サービスの利用数と治療の継続の方と完治の方の数	どのくらいの割合で増えているか、介護保険の区としての負担を常に把握することで、今後の高齢化に備えるため	上野委員
	地域密着型サービスを提供する施設数と新規の施設数	区の管轄の幼稚園、保育園や小学校や地域センターなどの建物と介護事業を複合させることで、資源や土地の有効活用をし、低コストにて新規事業を増やせると考えた為。	上野委員
	特別養護老人ホームの入所待機老人数	介護が必要な高齢者に対する必要な介護を提供することは重要で、必要な介護サービスを提供できる環境整備が出来ているかを把握するのに適した指標と考える。	小林（博）委員
	地域包括支援センター（高齢者あんしん相談センター）への相談件数	高齢者が安心して暮らしていくために、さまざまに困っていることを気軽に相談しやすい環境を整備することは大切なことである。それを達成するために適した指標であると考え。	小林（博）委員
	生きがいを感じる施策	元気な高齢者に対しては仕事やボランティア活動など生きがいを感じられるような場を行政が提供すべき。	島田委員

分野(中項目)	指標名	設定理由	委員名
高齢者福祉	介護保険サービスの利用者数の推移と、その中での「要介護度」別の内訳人数推移。	前の3年間の指標として、介護保険サービスの利用者人数をあげていました。介護を必要とする人に適切な介護保険サービスを提供することはもちろん大切ですが、自分が高齢者になれば、なるべく健康で、支援無しあるいは軽い支援を受けて、長寿という状態が望ましいと思うでしょう。介護保険サービスを利用とする場合、区から要介護認定を受けるので、それにより「要介護度」を区でも把握可能です。この指標を入れることで、同時に「介護予防の推進」の指標にもなり得ると考えました。	高橋委員
障害者福祉	バリアフリー化されている駅やお店、公衆トイレなどの施設数	障害を持っておられる方が住みやすい町は、高齢者や子育て世代にとっても優しい町となると考えた為。	上野委員
	障害者の継続就労数と就労施設数	役所内の仕事や新たに就労支援を支援してくださる企業を開拓することで、障害者だけでなく高齢者や就労に困っている母子・父子・介護者を抱えた家庭の方への就労の可能になると考えたため。自立する事が、経済的にも精神的にも安定した社会生活を送れるため。	上野委員
	障害の状況に応じた適切な媒体による情報提供を障害者が利用する人数	障害者の社会参加を促進するためには、必要な情報が入手しやすい環境を作ることが重要である。障害者が障害の状況に応じた適切な媒体による情報提供を利用しその人数を把握することは、情報のバリアフリーの達成状況を把握する上で適した指標であると考えます。	小林（博）委員
	障害者事業を通じた地域活動の参加者数	障害者が地域との連携によるさまざまな地域活動に参加することは大切なことであり、地域の中で障害者との交流が深められたかを把握するのに適した指標であると考えます。	小林（博）委員
		（3つの指標は継続）	小林（博）委員

分野(中項目)	指標名	設定理由	委員名
障害者福祉	合理的配慮の啓蒙と理解促進	障害者差別解消法が成立することで、国連障害者権利条約が批准されることになりそうです。行政機関については、合理的配慮の提供義務が課されますが、事業主については、努力義務となります。一日も早く合理的配慮の不提供が事業主にも禁止されるよう、区民への啓蒙と理解促進が急務と思われる為。災害時、医療機関でのトリアージのように、被災者を振り分け、身体的状況に応じた避難体制を確保することで、避難所の不便さの軽減に努めることは、緊急課題と考えられるから。	小西委員
生活福祉	生活保護受給者数とその原因数、受給年数と受給者年齢	社会貢献無しに生活保護費の受給をすることに反対します。どんな簡単な仕事でも出来る範囲のなかでの活動は、社会復帰や生きがいを持つ機会になると考えた為。（町の清掃作業でなども）	上野委員
	生活困窮者の一時的、長期的な仕事の就労斡旋数	何らかの理由により働けない方を除いて、シルバー人材センターのような一時的な仕事をする事で、働く事への自信を持ち、また仕事をする生活に慣れる為、自立への助けになると考えた為。	上野委員
	就労を望んでいる人の震災による被災地への派遣数	特に東日本大震災の被災地においては、人道的な支援が必要で、全国の役所勤務の方の派遣は行われているようですが、同じような支援で就労を望んでいる方を派遣することで、素晴らしおせっかいが行えると考えたため。	上野委員
	母子・女性緊急一時保護者数と既婚夫の給料差し押さえ件数	身勝手男性の増加によりDVや生活費の搾取などの事例が年々増加しているため、健全な家庭を増やす事で社会全体も良くなると考えたため。	上野委員
	路上生活者のうち自立した人の数（継続）		小林（博）委員
	生活保護受給者のうち自立することができた人の数	就労・自立する意欲をもたせ、支援により実際に自立することが大切である。自立支援事業の成果を把握するのにより指標であると考えた。	小林（博）委員

分野(中項目)	指標名	設定理由	委員名
健康づくり	検診や喫煙教育、両親学級などの土日開催数	役所や医療機関もサービス業として区民をサポートして欲しいと考え、土日に開催することで、独身世帯だけでなく家族世帯も家族皆で問題解決できる良い機会となるため。(禁煙講習を家族で参加することで未成年の喫煙を減らせる)	上野委員
	診療所等に関する相談・苦情に対する医療相談の件数と改善率	診療所等が行う医療は安全でなければならない。区民が安心して医療サービスを受けられているか、診療所等との信頼関係が築かれているかについて把握するには適した指標であると考え	小林 (博) 委員
		(3つの指標は継続)	小林 (博) 委員
生活衛生環境	適正なペット飼育の普及・啓発やマナーの向上を図るための事業へ参加者数	ペットを飼育する家庭が増えている中で、人と動物が共生できるようにすることが重要で、それを把握するための指標として適していると考え	小林 (博) 委員
		(2つの指標は継続)	小林 (博) 委員